

☆「蚕桑のよさ」を知る活動の実践 (白鷹町立蚕桑小学校)

生命の継承の
大切さに
関する教育

—「蚕桑のよさ」を知り、いのちのつながりを考える—

総合的な学習の時間を中心に蚕桑地区の伝統産業や自然、食について追求する活動、人権教室の取組みを通して、いのちのつながりや多様性、自他のいのちを大切にすることを育む学習の様子を紹介する。

○ 3年蚕学習「蚕はかせになろう」

- ・地域の先生に教えていただき蚕桑の伝統産業「蚕の飼育」に取り組んでいる。
- ・6月、「蚕を迎える会」で2100頭の蚕を迎え学習を開始。
- ・毎朝夕、蚕に桑の葉を与える「桑かけ」の仕事。当番を決めて土日も行った。命あるものを育てる苦労を体験した。
- ・11月、糸を取るため繭を湯で煮る作業を行った。蚕は蛹のまま死んでしまうが、蚕の命を感じながら繭糸を取った。

てまい小
いでねさ
こ大!く
う切繭て
!ににか
育なわ
てるい



○ 5年稲作学習「見つめよう私たちの食」

- ・JA青年部の先生方に教えていただき稲作学習に取り組んでいる。
- ・5月、田植えを行った。裸足で田に入り、1時間ほどで50㎡の田に苗を植えた。
- ・10月、稲刈りを行った。稲刈り用の鎌を使って手作業での稲刈り。刈った後は、「杭がけ」にも挑戦した。
- ・収穫した166kgの米でご飯を炊き、「収穫感謝祭」を実施。お世話になった先生方に感謝し収穫した喜びを味わった。

う大気田
!き持ん
くちぼ
育ちの
てい中
よ!は



○ おにぎりデー「食の大切さを考えよう」

- ・2年生以上が自分でおにぎりをにぎって食べる「おにぎりデー」に取り組んでいる。今年度で9年目を迎えた。「食」の大切さ、命をいただいていることへの感謝の気持ちを育てている。
- ・5年生は、おにぎりに加えて「お家でおかず一品作り」に、6年生は自分でメニューを考え、お弁当を作って学校で食べる「お弁当の日」も行った。

お自分
おいで
しぎで
いりに
ね、ぎ
! っ
特別



○ 人権教室「思いやりの心を育てよう」

- ・4年生以上が人権擁護委員の先生方に教えていただき、プランターに花を植えた。毎日世話をすることで命を大切にすることを育てている。
- ・「白い魚とサメの子」の紙芝居を読んでいた。命の大切さ、自分らしさ、

勇気、やさしさ、
思いやりが大切
だね。

